



2018.5.5

No. 292

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物認可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 杉山 元

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

第89回全道メーデー大会 200団体・5千名結集 ～働く者のための働き方改革をすすめよう!～



満開の桜に降り注ぐ暖かな日差しの中、第89回全道メーデーが開催された。

札幌大通公園8丁目広場には、組合員など5,000人(200団体)が集結し(全道では133地域50,000人)労働者の祭典が祝われた。

本年も式典開始前には、仮装コンクール、お楽しみ抽選会などが行われ、番号が呼ばれるたびに響めきが起き、当選者が決まると多くの落胆の声に混じり喜びの声が上がった。そのような中、松島温泉ご招待は、全農林と情報労連の組合員が当選し喜びにあふれていた。

式典では、まず大会実行委員長である連合北海道出村会長が、実行委員会を代表して挨拶を行った。

挨拶冒頭、出村会長は「憲法をねじ曲げ、強行採決を繰り返し、隠蔽、改ざん、抑圧、権力乱用と安倍内閣は最も醜い姿を露呈している」と安倍政権を批判し、「立憲主義、民主主義の危機であり、安倍内閣は総辞職、即刻退陣すべき」と訴え、「明年予定されている知事選を頂点とする統一地方選挙と参議院議員選挙の勝利を」参加者と誓い合った。

次に、2018春季生活闘争についてふれ、春闘の柱の一つである「働き方改革」については、「高度プロフェッショナル制度を撤回させ、長時間労働の是正と同一労働同一賃金を柱とした内容で法案を成立させる必要がある」今後は「立憲民主党、民進党、希望の党で作成した労働者保護を中心とした対案を軸にして、政府案の修正をはかっていくことが求められる」とした。

また、教員の長時間労働の取り組みやブラック層の取り組みが重要で、「働き方改革は、第一に『命と健康を守るもの』でなければならない」と訴え、最後に「平和で安心して暮らせる社会、額に汗して働くものが報われる社会、誰もが希望が持てる社会をめざして、引き続き運動を進めていく」と、参加者に力強く宣言した。

メーデーはこの後、来賓の阿部北海道副知事、秋元札幌市長、そして連合北海道国会議員団会議会長の荒井衆議院議員から挨拶をいただき、メーデー宣言・特別決議を満場一致で確認して、札幌市内でのアピール行動を行った。



メーデー宣言

メーデーの起源は1886年に8時間労働を求めたシカゴでのゼネストとデモに遡る。日本でもメーデーの歴史は脈々と引き継がれてきた。

そして、本日、私たちは性別や世代、働き方や組織、障がいの有無など、様々な『違い』を共有し、志を同じくするすべての仲間が、ここ第89回全道メーデー大会に結集した。私たちの思いや決意をここに宣言する。

東日本大震災から7年、熊本県を中心とする九州地震から2年が経過した。私たちは、今後も被災地の復興・再生に向けて、被災者に寄り添い、支え合い、助け合い、絆を深めながら、震災を風化させない取り組みを継続していく。

政治や行政に対する国民の信頼は大きく失墜している。財務省による資料改ざんという異常な状況が明らかとなった「森友問題」においては、政策決定プロセスにおける公正・透明さの欠如、とりわけ、憲法21条で保障された「国民が真実を知る権利」まで封じられた現状は、民主主義の重大な危機である。野党は、今こそ一丸となって結束し、真相の徹底究明と国会の立て直しを行い、一刻も早く国民の信頼を取り戻すために全力を投じるべきである。

第196通常国会に提案・審議が予定される「働き方改革関連法案」には、罰則付の時間外労働の上限規制など重要な内容が含まれる一方、長時間労働を助長させかねない「高度プロフェッショナル制度の創設」も含まれている。長時間労働の是正や同一価値労働同一賃金の法整備の実現など、真に働く者の立場に立った「働き方改革」が実現するよう野党三党との連携を強化し、全力で取り組んでいく。

北朝鮮による核開発やトランプ大統領による「核態勢の見直し」、中国やロシアの軍拡化など、安全保障上の緊張感が高まっている。地域の安定と、核兵器の廃絶による世界の恒久平和の実現に向けた各国政府の役割は、極めて重い。私たちは、核不拡散・核軍縮に向け核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議での合意、そして核兵器禁止条約の批准を求めていく。

私たちはメーデーの起源を心に刻み、志を同じくする全世界の仲間との連帯を強化し、人権を守り、あらゆる差別のない「尊厳ある生活と働き方」の確立と「働くことを軸とする安心社会の実現」に向けて全力を挙げることをここに誓う。

2018年5月1日
第89回全道メーデー大会

すべての労働者の立場にたった働き方改革により ディーセント・ワークの実現を求める特別決議

労働者の祭典メーデーと労働運動の歴史は、低賃金と長時間労働の是正、働きがいのある人間らしい労働「ディーセント・ワーク」を求める歴史でもある。

しかし、毎月勤労者統計調査による2016年の道内の一般労働者の年間総実労働時間は、事業所規模5人以上で前年に比べて7時間減少し2043時間となったが、全国平均に比べて19時間長く、長時間労働は改善されていない。

長時間労働を背景とした労働者の健康不調、過労死・過労自殺など、本来「生きる」ために「働く」はずが、「働く」ことによって健康を害す、あるいは尊い生命を奪われてしまう事例が残念ながら後を絶たない。働く者と家族のためにも、私たちはこのような状況をこれ以上許さないし、そもそもあってはならないものである。また、教職員や公務職場においても、過労死・過労死自殺ゼロはもとより長時間労働は正に向けた取り組みを進める必要がある。

加えて、非正規労働者は職場で正規労働者と同様の仕事をしている場合でも、雇用形態が異なるという理由だけで賃金や労働条件に不合理な格差が生じていることも早急に改善させなければならない。

こうした中、「働き方改革関連法案」が閣議決定され、国会で審議されようとしている。連合はこれまで、時間外労働の上限規制や同一労働同一賃金等の法整備は早期に

実現すべきであるが、高度プロフェッショナル制度の創設と、データ不備が指摘され関連法案から取り下げられた企画業務型裁量労働制の対象業務の拡大は実施すべきではないとの考え方を一貫して主張してきた。政府は、この二点に働く者が強く反対していることを真摯に受け止めるべきである。よって高度プロフェッショナル制度の創設についても法案から削除することを強く求める。

「働き方」は産業・企業・職場によって様々である。職場の実態を見極め、改善を進めることは、職場を熟知した労使にしかできない。我々組織された労働組合が法成立に先んじて取り組みを進めることがまさしく求められている。

連合北海道は誰もが健やかに働き続けられる職場・社会、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、すべての職場で取り組みを進めている。今後も多くの労働者と手を取り合い、真に「働く者のための働き方改革」により、ディーセント・ワークが実現するよう全力で取り組む。

以上、決議する。

2018年5月1日
第89回全道メーデー大会

「驕る隠蔽政治に終止符を打つ！」 第19回統一地方選挙および第25回参議院選挙勝利に向けた特別決議

明年春には第19回統一地方選挙が執行される。

人口減少と超少子高齢化、大都市圏への一極集中と地方の過疎化等が問題となる中、地方自治体はそれぞれの判断と責任により、地域の実情や住民の声に沿った行政を展開していくことが求められている。

住民の一番身近なところで行政サービスを提供する地方自治体の役割と重要性は益々高まっている。知事選を頂点とする第19回統一地方選挙および中間選挙を地域の政策実現にむけた重要な闘いと位置づけ、一日も早い知事候補の決定と連合推薦各級候補の擁立拡大と完勝をめざす。

また、明年夏には第25回参議院選挙が執行される。

一強に驕る与党は、「安全保障関連法案」「いわゆる共謀罪を盛り込んだ改正組織犯罪処罰法案」の強行採決をはじめ、民主主義を蔑ろにする強引な政権運営を続けている。そうした中、政治の根幹を揺るがす重大事態が発生した。

財務省による、「森友学園」に関わる資料の「改ざん問題」である。

今回の事態の重大さは、政策決定プロセスにおける公正・透明さの欠如、とりわけ、国民が真実を知る権利が封じられている現状であり、まさに国民不在の政治である。

この問題に関しては、1年間以上にわたり国会で多くの時間が費やされてきたが、今回の事態は国会での政府答弁の根拠を大きく崩すものである。南スーダン国連平和維持活動(PKO)の日報隠ぺい問題など、度重なる政府による情報の隠ぺい、改ざんによる国民の政治や行政に対する信頼失墜は、日本の民主主義の危機である。安倍内閣は即刻退陣すべきである。

今、問われているのは国会の建て直しと信頼の回復であり、この事態を招いた根本原因は、制御の効かない「いわゆる一強政治」に他ならない。

第25回参議院選挙は、今日の政治状況を変える極めて重要な闘いとなる。「驕る一強政治」に終止符を打ち、連合のめざす「働くことを軸とする安心社会」を実現するため「働く者・生活者」の立場に立った政治勢力の拡大を北海道から興していく。そのために連合北海道は、推薦候補者全員の完勝をめざし組織の総力を結集し運動を展開する。

以上、決議する。

2018年5月1日

第89回全道メーデー大会

職場で役立つ法律知識を
身につけよう!

ワークルール検定 2018春

ワークルール検定は、働くときに必要な法律や決まりを身につけられる検定制度です。いま、職場の環境が変わり、働き方も多様になって、身近なところでいろいろな問題が起こっていますが、ワークルールを知っていれば問題を未然に防止できたり、解決できたりすることがあります。働く人にとっては、知識を身につけることによって自分や仲間を守ることができます。会社にとっては、コンプライアンスの推進や人材の確保に役立ちます。誰もが安心して働ける職場を作るために、この検定制度を生かしてください。

検定日 2018年6月10日(日)

時間 初級/10:00~12:00
中級/14:00~15:20

URL <http://workrule-kentei.jp/>

好評配布中!

組合員特別優待クーポン誌

ゆに・ぽん



2018ゴルフ場特別企画

連合北海道HPにも掲載中



ゴルフのおともにも
ぜひご利用
ください。



5月の主な動き

イベントカレンダー

- クラシソコアゲ全道キャラバン出発式
10日(木) 12:15/札幌紀伊國屋前
- 出村会長とニューリーダーとの対話集会
12日(土) 15:00/ホテルユニオン
- 地協・地区連合職員研修会
17日(木) 14:00~
- 18日(金)/ガーデンパレス

- 高校生平和大使選考会
20日(日) 13:00/ポールスター札幌
- 公契約条例ワーキングチーム会議
23日(水) 14:00/自治労会館
- 地域公共交通を考えるプロジェクト
チーム第2回講座
29日(火) 13:30/ポールスター札幌

- 第7回執行委員会
30日(水) 10:15/連合北海道会議室
- 第40回労働福祉対策特別委員会
30日(水) 13:30/ポールスター札幌
- 第6回地協事務局長会議
30日(水) 15:00/ポールスター札幌
- 第2回政策委員会
31日(木) 10:00/ポールスター札幌